

単元 資質・能力		実施時期								質的ルーブリック（判断基準）			
		1 学期			2 学期				3 学期		考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
		山のこと	小式部内侍が大江	朝三暮四	中納言参り給ひて	漢詩	弓争い	鴻門之会	門出	若紫			
根拠や段落相互のつながりを踏まえて，筆者の主張を読み取る。				◎		◎				◎	語句の意味・用法・訓読の方法・句形を理解している。文章等の構成や形式を理解している。主張の読み取り方を理解している。	論理（共通―相違，原因―結果，具体―抽象等の情報と情報の関係性）や，段落相互のつながりを踏まえて，筆者の主張を読み取ることができる。	筆者の主張に対して，自分の意見を持つことができる。筆者の主張に沿った，別の具体例を挙げることができる。違う条件下に置いた場合どうなるか予測することができる。別の文章と関連づけて考察を深めることができる。
心情の変化や人物相互の関係の変容を読み取る。		◎			◎		◎	◎	◎		語句の意味・文法・訓読の方法・句形・修辞法・形式を理解している。作品が書かれた時代背景や思想的背景を理解している。場面・心情の読み取り方を理解している。	場面・心情の変化や人物相互の関係の変容を読み取ることができる。直接的には書かれていない心情を，行間から想像することができる。	時代背景や思想を踏まえて，作品のテーマを読み取り，自分にとっての意味を定義することができる。
古典と自分とのつながりを意識する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	作品のジャンル・書かれた時代・作者について理解している。	作品の文学史における価値を理解している。	作品と現代の文化や自分の言語生活との関わりについて考えることができる。作品の持つ普遍的な価値について考察することができる。
多様な意見を取り入れて自分の意見を形成する。						○	○		○	○	テーマに即して自分の意見を持つことができる。	話し合いなどにおいて，多様な意見の共通点や相違点を明確にして分類・比較することができる。	他者の意見や感情を理解したうえで，自分の意見を深めたり，新たな課題を見つけたりすることができる。
自分の考えをまとめ効果的に表現する。		○	○								修辞法・文体・発表の方法について種類や特徴を理解している。	根拠に基づいて考えを表現することができる。	聞き手や読み手が納得・共感するように工夫して表現することができる。
主な学習活動（協議，討論，発表等）		協議	協議	協議	発表	協議	発表	協議	発表	協議			

意欲・態度，価値観・倫理観	考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
課題を発見しその課題を解決するために，前向きな見通しを持ち，他者とコミュニケーションをとりながら考え，行動する。	課題解決に向けて，必要な知識・技能を身に付けている。	課題解決に向けて，身に付けた知識・技能を活用することができる。	課題解決に向けた行動について評価することができる。新たな課題を見つけ，解決に向けた計画を立てることができる。
発言や文章から相手の意見を受け止めて考えを深め，根拠を明らかにしながら自分の意見を効果的に伝えたり，問題を解決したりする。	発言や文章から意見を読み取ったり，相手に伝えたりするための知識・技能を身に付けている。	考えの筋道を意識して，話す・聞く・読む・書くことができる。	話し合いや読解を通して，自分の意見を深めることができる。問題を自分のこととして捉え，意見を述べることができる。